

1 次の放物線と直線に共有点があれば、その座標を求めよ。

(1) $y=x^2, y=x+2$

(2) $y=x^2+3, y=-2x$

(3) $y=x^2+5x+3, y=-x-6$

(1) $x^2 = x + 2$

$x^2 - x - 2 = 0$

$(x-2)(x+1) = 0$

$x = 2, -1$

$x = 2 \text{ or } -1 \Rightarrow y = 4$

$x = -1 \text{ or } 2 \Rightarrow y = 1$

$(2, 4), (-1, 1)$

(2) $x^2 + 3 = -2x$

$x^2 + 2x + 3 = 0$

= a 方程式の判別式 $D/4$ の値

$D/4 = 1^2 - 3 < 0$

$D/4 < 0$ 故

$y = x^2 + 3$ と $y = -2x$ は
共有点をもたない

(3) $x^2 + 5x + 3 = -x - 6$

$x^2 + 6x + 9 = 0$

$(x+3)^2 = 0$

$x = -3$

$y = -(-3) - 6$

$y = -3$

$(-3, -3)$

2 放物線 $y=x^2-4x+3$ と直線 $y=2x+k$ が接するとき、定数 k の値を求めよ。また、そのときの接点の座標を求めよ。

$x^2 - 4x + 3 = 2x + k$

$x^2 - 6x + 3 - k = 0 \dots \textcircled{1}$

= a 方程式の判別式 $D/4$

$D/4 = 9 - (3 - k)$
 $= 6 + k$

接点の座標 $D/4 = 0$ として解く

$6 + k = 0, k = -6$

$k = -6$ を $\textcircled{1}$ に代入

$x^2 - 6x + 9 = 0$

$(x-3)^2 = 0, x = 3$

$x = 3, k = -6$ である

$y = 2 \cdot 3 - 6 = 0$

以上より $k = -6$ である 接点 $(3, 0)$

3 放物線 $y=-2x^2$ と直線 $y=4x-k$ の共有点の個数は、定数 k の値によってどのように変わるか。

$-2x^2 = 4x - k$

$2x^2 + 4x - k = 0$

= a 方程式の判別式 $D/4$

$D/4 = 4 - 2 \cdot (-k)$
 $= 4 + 2k$

(i) $D/4 > 0$

$4 + 2k > 0$

$k > -2$ である 2個

(ii) $D/4 = 0, 4 + 2k = 0$

$k = -2$ である 1個

(iii) $D/4 < 0, 4 + 2k < 0$

$k < -2$ である 0個

(i), (ii), (iii) より

$k > -2$ である 2個

$k = -2$ である 1個

$k < -2$ である 0個

4 放物線 $y=x^2+3x+2$ について

- 放物線と直線 $y=x+5$ の共有点の座標を求めよ。
- 放物線と直線 $y=-x+k$ が接するとき、定数 k の値を求めよ。また、そのときの接点の座標を求めよ。
- 放物線と直線 $y=-3x+2k-1$ が共有点をもつとき、定数 k の値の範囲を求めよ。

(1) $x^2+3x+2 = x+5$
 $x^2+2x-3 = 0$
 $(x+3)(x-1) = 0$
 $x = 1, -3$
 $x=1$ のとき $y=6$
 $x=-3$ のとき $y=2$
 $(1, 6), (-3, 2)$

(2) $x^2+3x+2 = -x+k$
 $x^2+4x+2-k = 0$
 ⇒ 方程式の判別式 $D/4 < 0$
 $D/4 = 4 - (2-k) < 0$ 接するとき $D/4 = 0$
 $2+k = 0$
 $k = -2$

また $k = -2$ のとき
 $x^2+4x+4 = 0$
 $(x+2)^2 = 0, x = -2$
 $y = 0$

よって $k = -2$ のとき接点 $(-2, 0)$

(3) $x^2+3x+2 = -3x+2k-1$
 $x^2+6x-2k+3 = 0$
 ⇒ 方程式の判別式 $D/4$

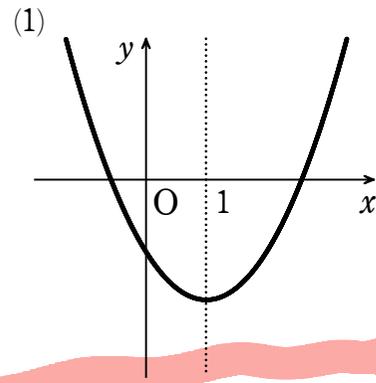
$D/4 = 9 - (-2k+3) > 0$
 $= 2k+6 > 0$

$2k+6 > 0$
 $k > -3$

共有点を持つとき
 $D/4 \geq 0$

$k \geq -3$

5 2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフが次の図のようになるとき、 $a, b, c, a+b+c$ および b^2-4ac の符号を調べよ。



a は、上 or 下 凸
 b は、軸
 c は、 y 軸交点
 $a+b+c$ は、 $x=1$ 代入
 b^2-4ac は 共有点の個数

<今日のふりかえり>

- $F < 0$ のとき、 $a > 0$
- $x=0$ のとき $y=c$
 y 軸との交点の y 座標は負のとき $c < 0$
- $x=1$ のとき $y=a+b+c$
 $x=1$ のとき y 座標は負のとき $a+b+c < 0$
- $ax^2+bx+c=0$ の判別式 $D < 0$
 $D = b^2 - 4ac$ 、 $y = ax^2+bx+c$ は 2点で x 軸と交わる。 $D > 0$
 接するとき $b^2 - 4ac = 0$

$y = ax^2+bx+c$ の
 $y = a(x + \frac{b}{2a})^2 + c - \frac{b^2}{4a}$
 軸は直線 $x = -\frac{b}{2a}$

軸 > 0 のとき
 $-\frac{b}{2a} > 0, a > 0$ のとき $b < 0$